



理数アカデミー 合同入校式

5月28日(日)、理数アカデミー15回目の合同入校式が教育プラザで行われました。

今年度の受講希望者は、共同開催の東京大学ジュニアドクター育成塾への全国からの応募者を含めて約100名(別途選抜予定)となり、当日の入校式の出席者は47名でした。

昨年度までは第1回目は入校式のみ行いましたが、今年度は授業も行いました。授業の様子は次号(No.196)でお伝えします。

対面で参加している受講生は、記念に来賓の方々や先生方と共に集合写真を撮りました。

入校式では、日立理科クラブの瀧澤代表から「東京大学とも連携し世界につながるような仕組みができてきている。間違ってもよいから積極的に参加してほしい。参加し続けること、そして毎日の積み上げが大切だ。」また、来賓の日立市教育委員会多田指導課長からは、「日立理科クラブは全国的にも高い評価を受けている。今のわくわくした気持ちを大切にして、幅広く視野を広げてほしい。そして、自分を成長させてほしい。」と受講生への励ましの言葉がありました。

受講生代表の丹野聡介さん(大久保中2年)は、「昨年度も参加し、理科や数学への興味を一層深めた。東大ジグソー学習を通して共同で学習したことも楽しかった。みんなと協力して楽しく学びたい。数検も頑張りたい。」と、理数アカデミーに応募した理由や抱負を述べていました。

理科、算数・数学、自由研究の担当者からは一年間の活動方針や特別授業の予定について説明がありました。

また、東京大学のジュニアドクター育成塾齋藤先生からは活動のガイダンスの中で、日立だけではなく全国の会場で学んでいるジュニアドクターとの共同学習についてもお話がありました。受講生から質問が出るなど、見通しを持ちながら精一杯取り組もうとしているのが伝わってきました。

オンラインで全国各地から参加した受講生からも、PCの前で真剣に聞いているのが伝わってくる意欲いっぱいの入校式でした。



自由研究コース



(瀧澤代表)



(多田指導課長)



(オリエンテーションを聞く受講生)